たのしむユニバーシティ通信

TANOSHIMU-UNIVERCITY COMMUNICATION

2018
第 001 号
発行所
川上塗装工業株式会社
盛岡市三ツ割 3-2-11
電話　019-601-4014

Main Thema

自分ってどんな人間だろうと思ったら入学!
“SWOT分析で自分自身を知ろう” 講座

自分の本当の強みとはなんでしょう?

今回の講義は、社内での現状分析の際に、社員全員で自分SWOT分析（S・強み、W・弱み、O・機会、T・脅威。外部環境の影響と、それに対する現状を分析し、効果的なビジネスアクションを発見）をやりたいという思いからはじまりました。そのためには自分自身を分析すれば、自分のことなのでわかりやすいし、自分を振り返るきっかけになるだろうと依頼しました。

はじめに「強みとは何か」という問いをいただきました。一般的に言われる「強み」はコミュニケーション能力や行動力等が挙がり、欧米で行われたアンケートによると、自分の強みをほぼ毎日仕事に活かせている人は5人に1人。日本だともっと少ない事が予想されます。なぜ強みが仕事に活かされないのか?そこで「強み」の再定義が重要となります。性格や素質などが備わっていて、うまく成果が出たとしても苦痛ばかりでやりがいが感じられない仕事は「強み」と言わないそうです。

では、本当の「強み」とは何か。それは①資質②スキル③知識の3つの要素から構成されており、そこに「好き・やりがい・楽しい」の要素が加わり、「成果に繋がる行動」になってはじめて「強み」と呼べるものになり、それを業務に活かせれば個人の幸福度も上がるそうです。その後、自分の本当の強みを探るために個人ワークに入りました。

まとめとして日々の中で「強み」認識して業務にどう活かすかが課題となります。そのためには今、やりがいのある業務はなぜ好きかを分析し、その「強み」は他の業務に展開可能かを探った上で新たなチャレンジをし、強みの種類を拡げることができれば、もっと成長できるのではないかとのことでした。ワークを通して「過去を振り返る」という慣れない作業のため筆の進みに個人差が出ました。たくさん書けた人、まったく書けない人。書けても書けなくても本当の自分と向き合う良い機会になりました。山口先生ありがとうございました!

講師紹介

山口　敏　Satoshi Yamaguchi

経営コンサルタント　«シフトブランディング＆コンセプトメイキング»代表。宮古市出身。東京にて鐘紡やワールドなどで経営企画室や新規ブランドのマネージャーを経験。
震災を機に岩手に戻り、沿岸の復興支援に携わりながら、よろず支援拠点のコーディネーターを務め、今まで 1000 件以上の経営相談に応じている。

第１回
2017.4.14

強みを知って活かしてチャレンジ！

Photo